

「奥州市世界遺産登録候補地ガイドの会 令和3年度活動報告」

令和4年6月

奥州市世界遺産登録候補地ガイドの会

会長 千葉 照男

当会は奥州市からの委託を受け世界遺産登録候補地である史跡白鳥館遺跡及び史跡長者ケ原廃寺跡の重要性を伝える事を目的に来訪者への遺跡案内を主とし、会員の研鑽を図る活動や住民参加型の交流・文化活動などを行っております。

これらの趣旨に従い令和3年度は4月24日（土）から10月31日（日）までの毎週土曜日は史跡白鳥館遺跡で、日曜日は史跡長者ケ原廃寺跡で祝日は変則的でしたが11時から15時まで各ガイド施設に会員を配置し個人・団体の無料ガイドを実施致しました。

【その他の主な活動は次の通りでした】

- 1, 会員研鑽のため、活動期間の毎月第1土曜日の定例会後に「勉強会」を行いました。
  - 勉強会のテーマ例として【「陸奥話記」衣河関攻防における官軍の侵攻路について】などについて会員による資料作成配付で勉強会を行いました。
  - 11月28日（日）会員向けバスツアー研修会開催、12名参加、胆沢交通バス利用  
研修場所：水沢観光物産センター、→衣川南股地区センター（センター長の解説有り） → 衣川宝塔谷地（一関市巖美国道342号へ） → 「萩の馬場」（一関市萩荘市民センターで齋藤氏からの解説有り） → 小松柵（一関市萩荘字谷起島） → 石坂柵（一関市赤荻福原） → 「新平泉世界遺産ガイドダンスセンター」（柳之御所）
- 2, 奥州市主催のイベントへの協力や各種団体から依頼のガイドを実施しました。
  - ・令和3年4月24日（土）から8月2日までの毎週土・日・祝日合計36日間、東北DCキャンペーンで黒石寺から正法寺（秘仏公開）までのシャトルバス添乗ガイドを実施しました。
- 3, 当会主催の「世界遺産拡張登録応援事業」として次の事業を実施しました。
  - 令和4年3月19日 13時30分～水沢地区センター  
当会主催「市民公開講座」開催、約40名出席、岩手日報取材  
「後藤新平伯が購入した高野長英肖像画について」  
発表：木村 孝 氏（会員）

以上、